

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	子育て支援 課 こども係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号） 1 5 3 】
第4次総合計画の 該当項目	3節132項 遊び場の確保

業務の名称	交通児童遊園管理運営業務		
(1) 根拠法令・条例	児童福祉法 長久手町交通児童遊園の設置及び管理に関する条例		
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>7.2</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>80.5</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>231.4</u> 人・日)		
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>2,930</u> 千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	<u>0.0</u> % (平成20年度実績)		
(5) 業務期間	開始した年度	昭和57 年度	終了 (予定) 年度 年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的 (達成目標)	児童の健康を増進し、交通安全の知識及び能力の開発に寄与する場とすることを、目的とする。																																														
②業務が対象とする住民 (地域、層)	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童。																																														
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般利用 (自転車利用) ・団体利用 (自転車利用) 																																														
④業務の実施結果 (平成20年度実績)	現代社会の変革から、また学校の週休二日制の導入もあり、土日曜日の利用、父親の利用が増えて、父親の育児参加、親子のふれあいにつながった。予算や人員の増減はなし。																																														
	<p>【業務結果の説明指標】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度 実績</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>利用者</td> <td>16,769</td> <td>17,265</td> <td>17,753</td> <td>17,669</td> <td>19,500</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>自転車利用</td> <td>5,540</td> <td>6,358</td> <td>8,365</td> <td>8,062</td> <td>88,000</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標	1	利用者	16,769	17,265	17,753	17,669	19,500	2	自転車利用	5,540	6,358	8,365	8,062	88,000	3							4							5					
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標																																									
1	利用者	16,769	17,265	17,753	17,669	19,500																																									
2	自転車利用	5,540	6,358	8,365	8,062	88,000																																									
3																																															
4																																															
5																																															

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

- ・コースの舗装・施設の老朽化対策を、限られた予算の中で合理的に行う。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
・17年度から、交通児童遊園の1日開園日(土日曜日、夏休みなど)を従来の昼1時間(12時～1時)休園から1日を通して開園とした。	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2～0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	2点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	2点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.6 点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	<p>①. 前年度と同じく、そのまま継続する。</p> <p>2. 見直して継続(業務の拡大)</p> <p>3. 見直して継続(業務の縮小)</p> <p>4. 見直して継続(方法の改善)</p> <p>5. 見直して継続(他業務と統合)</p> <p>6. 廃止する。</p> <p>7. 休止する。</p>
②評価理由	交通児童管理運営は、従来どおり、よりよいかたちで現在の児童を取り巻く環境を見据えながら、継続していきたい。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	<p>交通児童管理運営は、従来どおり、よりよいかたちで現在の児童を取り巻く環境を見据えながら、継続していきたい。</p> <p>・コースの舗装・施設の老朽化対策を、限られた予算の中で合理的に行う。</p>
②改善時期	平成21年度～
③改善方法	コースの舗装・施設について部分補修で対応